

平成29年度 決算状況				人 口 増 減 率	27年国調 3,422人 22年国調 3,681人 -7.0%	30.1.1 3,542人 29.1.1 3,600人 -1.6%	うち日本人 3,536人 3,594人 -1.6%	産業構造			都道府県名 43 熊本市	団体名 5121 山江村	市町村類型 地方交付税種地	I-O 2-2		
歳入の状況 (単位:千円・%)						区分	27年国調	22年国調	都道府県名 43 熊本市							
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	増減率	第1次	第2次	第3次	平成29年度(千円)						平成28年度(千円)	
地方譲与税	214,117	6.1	214,117	11.8		337	362		歳入総額						3,511,672	3,636,286
配子割交付金	35,742	1.0	35,742	2.0		19.7	20.2		歳入総差額						3,296,817	3,328,268
相当割交付金	334	0.0	334	0.0		418	446		支年度に繰越すべき財源						214,855	308,018
株式等譲渡所得割交付金	467	0.0	467	0.0		958	980		実年度取支						26,970	21,008
分譲課税所得割交付金	678	0.0	678	0.0		55.9	54.8		積立金取崩し額						187,885	287,001
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-					状況						-99,125	24,341
地方消費税交付金	53,548	1.5	53,548	3.0					積立金取崩し額						124,766	101,139
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-					積立金取崩し額						-	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-					積立金取崩し額						142,000	130,000
自動車取得税交付金	8,731	0.2	8,731	0.5					積立金取崩し額						-116,359	-4,520
軽油引取税交付金	-	-	-	-					積立金取崩し額						-	-
地方特例交付金	724	0.0	724	0.0					積立金取崩し額						-	-
地方交付税	1,585,364	45.1	1,492,143	82.6					積立金取崩し額						-	-
内普通交付税	1,492,143	42.5	1,492,143	82.6					積立金取崩し額						-	-
内特別交付税	93,221	2.7	-	-					積立金取崩し額						-	-
内震災復興特別交付税	-	-	-	-					積立金取崩し額						-	-
(一般財源計)	1,899,705	54.1	1,806,484	100.0					積立金取崩し額						-	-
交通安全対策特別交付金	495	0.0	495	0.0					積立金取崩し額						-	-
分担金・負担金	14,867	0.4	-	-					積立金取崩し額						-	-
使用料	72,352	2.1	-	-					積立金取崩し額						-	-
手数料	3,017	0.1	-	-					積立金取崩し額						-	-
国庫支出金	386,214	11.0	-	-					積立金取崩し額						-	-
国有提供交付金	-	-	-	-					積立金取崩し額						-	-
(特別区財調交付金)	-	-	-	-					積立金取崩し額						-	-
都道府県支出金	190,908	5.4	-	-					積立金取崩し額						-	-
財産収入	54,609	1.6	-	-					積立金取崩し額						-	-
寄附金	12,242	0.3	-	-					積立金取崩し額						-	-
繰越入金	166,928	4.8	-	-					積立金取崩し額						-	-
繰越入金	308,018	8.8	-	-					積立金取崩し額						-	-
諸収入	36,517	1.0	57	0.0					積立金取崩し額						-	-
地方債	365,800	10.4	-	-					積立金取崩し額						-	-
うち減取補償債(特例分)	-	-	-	-					積立金取崩し額						-	-
うち臨時財政対策債	69,100	2.0	-	-					積立金取崩し額						-	-
歳入合計	3,511,672	100.0	1,807,036	100.0					積立金取崩し額						-	-

性質別歳出の状況 (単位:千円・%)					目的別歳出の状況 (単位:千円・%)					区分		平成29年度(千円)	平成28年度(千円)
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	区分	決算額	構成比	(A)のうち	(A)の	基準財政収入額	246,717	249,284
人件費	459,801	13.9	440,426	431,120	23.0	区	59,436	1.8	普通建設事業費	59,436	基準財政需要額	1,740,233	1,784,535
うち職員給与	269,010	8.2	255,185	-	-	議	676,754	20.5	普通建設事業費	57,355	標準税収入額等	300,907	302,958
扶助費	482,797	14.6	154,315	153,191	8.2	総	822,008	24.9	普通建設事業費	-	標準財政規模	1,862,230	1,906,227
扶公債	341,204	10.3	311,741	311,741	16.6	民	250,851	7.6	普通建設事業費	-	財政力指数	0.14	0.13
内元利償還金	314,560	9.5	288,169	288,169	15.4	衛	285,692	8.7	普通建設事業費	6,010	実質収支比率(%)	10.1	15.1
一時借入金	26,644	0.8	23,572	23,572	1.3	農	50,310	1.5	普通建設事業費	218,949	公債費負担比率(%)	12.6	12.5
内(義務的経費計)	1,283,802	38.9	906,482	896,052	47.8	林	453,254	13.7	普通建設事業費	382,428	健全率	9.2	9.4
物件費	549,545	16.7	413,705	309,391	16.5	商	99,988	3.0	普通建設事業費	-	実質赤字比率(%)	-	-
維持補修費	25,896	0.8	18,220	10,326	0.6	工	256,496	7.8	普通建設事業費	21,728	断絶率	-	-
補助費等	381,041	11.6	296,638	223,733	11.9	消	824	0.0	普通建設事業費	341,204	比実質公債費比率(%)	9.2	9.4
うち一部事務組合負担金	139,708	4.2	139,708	130,574	7.0	教	341,204	10.3	普通建設事業費	-	率化	-	-
積立	423,754	12.9	388,968	249,227	13.3	育	-	-	普通建設事業費	-	積立金高	989,975	1,007,209
積立	155,862	4.7	141,201	-	-	災	-	-	普通建設事業費	-	現在高	337,018	336,710
投資・出資金・貸付金	5,000	0.2	-	-	-	害	-	-	普通建設事業費	-	特定目的	582,544	572,056
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	復	-	-	普通建設事業費	-	地方債現在高	3,369,853	3,318,613
投資的経費	471,917	14.3	98,670	-	-	旧	-	-	普通建設事業費	-	債務負担行額	-	-
うち人件費	-	-	-	-	-	費	-	-	普通建設事業費	-	支額(支出予定額)	13,573	16,421
内普通建設事業費	471,093	14.3	97,846	-	-	諸	-	-	普通建設事業費	-	の	50,420	67,192
うち補助	371,980	11.3	33,492	-	-	支	-	-	普通建設事業費	-	実質的なもの	-	-
うち単独	86,165	2.6	51,406	-	-	出	-	-	普通建設事業費	-	取	403,690	403,439
内震災復興事業費	824	0.0	824	-	-	合	-	-	普通建設事業費	-	益	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-	計	-	-	普通建設事業費	-	土	-	-
歳入合計	3,296,817	100.0	2,263,884	2,478,739	-	繰	423,754	12.9	普通建設事業費	-	地	99.2	94.8

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうち補助事業費を含み、単独事業費を含む。2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。3. 産業構造の比率は母数を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。4. 人口については、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況をとりとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土院)による。6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(円)」及び「一人当たり平均給料月額(円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)7. 「一般職員等」、「ラスパイレス指数」、「特別職等」については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。